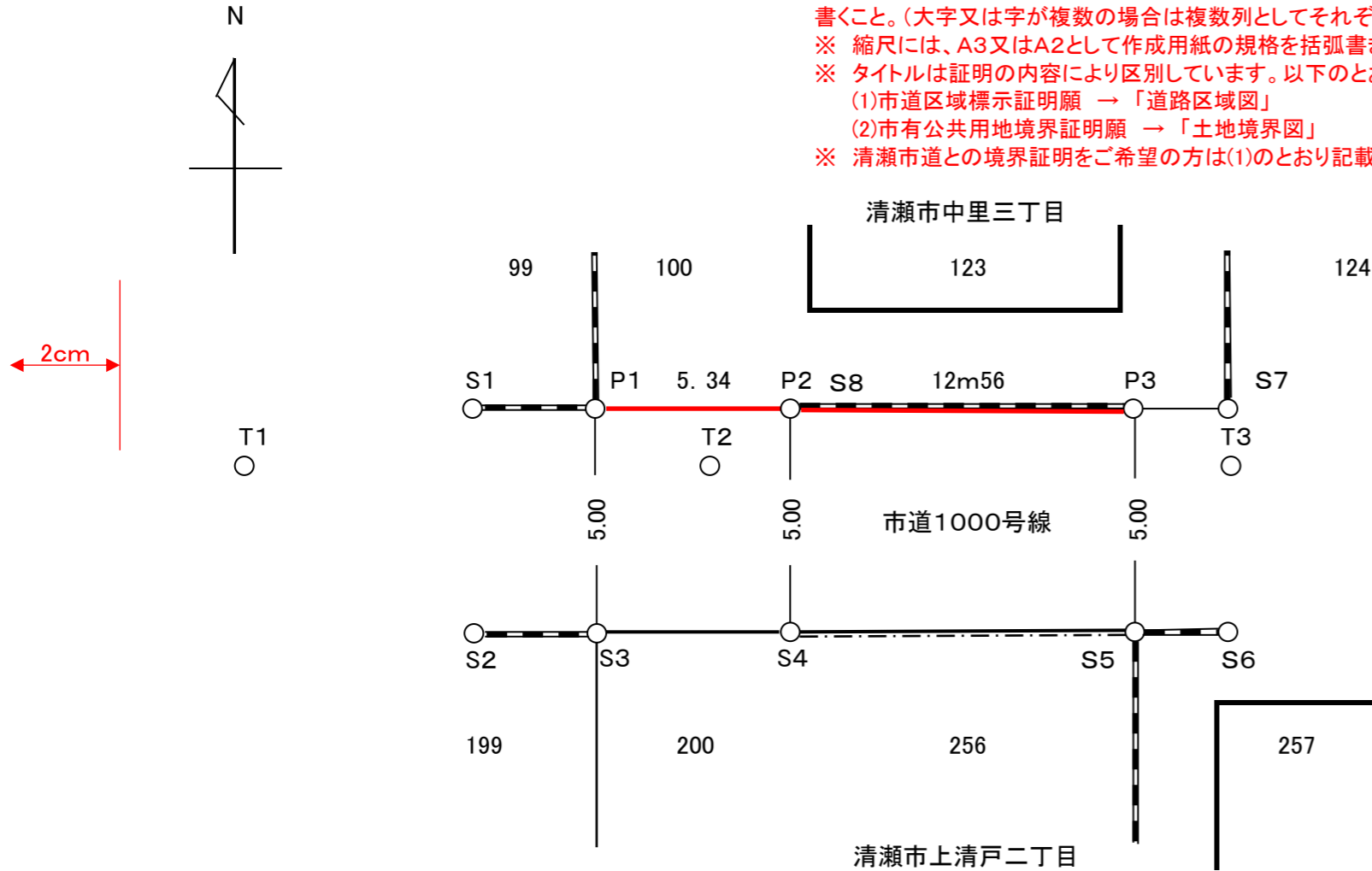


**(証明用\_実測図記入例)**

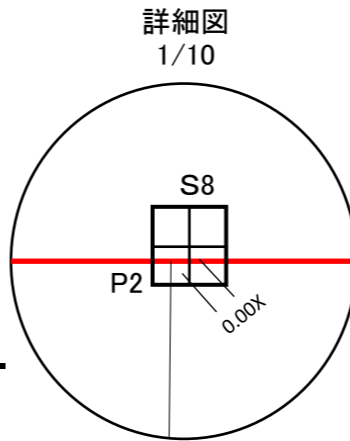
- (注)  
 ※ 用紙は日本工業規格A列2番又は3番とし、普通紙で品種は上質紙と  
 ※ 縮尺は、原則として1/250とする。  
 ※ 境界確定を伴う証明は、確定図にて証明可能です。  
 ※ 別途実測図を作成する必要はありません。



道路区域図 ※または土地境界図		
土地の 所在・地番	清瀬市 丁目 番 ほか	縮尺(A3) 1 250

- (注)  
 ※ 土地所在地番が複数ある場合は「ほか」を忘れずに  
 書くこと。(大字又は字が複数の場合は複数列としてそれぞれ記載する)  
 ※ 縮尺には、A3又はA2として作成用紙の規格を括弧書きする。  
 ※ タイトルは証明の内容により区別しています。以下のとおり記載してください。  
 (1)市道区域標示証明願 → 「道路区域図」  
 (2)市有公共用地境界証明願 → 「土地境界図」  
 ※ 清瀬市道との境界証明をご希望の方は(1)のとおり記載してください。

符号	X	Y	備考
P1	00.000	00.000	既設市石標 <input checked="" type="checkbox"/>
P2	00.000	00.000	計算点
P3	00.000	00.000	新設市金属標 <input checked="" type="checkbox"/>
S1	00.000	00.000	既設市石標 <input checked="" type="checkbox"/>
S2	00.000	00.000	既設鉄
S3	00.000	00.000	計算点
S4	00.000	00.000	既設民石標 <input type="checkbox"/>
S5	00.000	00.000	現況L形溝曲がり
S6	00.000	00.000	既設鉄
S7	00.000	00.000	既設民石標 <input type="checkbox"/>
S8	00.000	00.000	既設民石標 <input type="checkbox"/>
T1	00.000	00.000	新設鉄
T2	00.000	00.000	新設鉄
T3	00.000	00.000	既設鉄
10A30	00.000	00.000	金属標・(測地成果2000)
2A100	00.000	00.000	鉄鉄(測地成果2000)



- (注)  
 ※ 石標、金属標の形状は図面記載方向を基準に現形を記載する。(北上ではない)  
 ※ 石標、金属標の既設、新設の別を記載する。  
 ※ 多角点の世界測地系等(測地成果2000又は2010)を使用した場合は  
 その旨記載する。

- (注)  
 ※ 測量年月日は、境界標設置日等を記載すること。  
 ※ 原則上下左右2cm以上空ける。

- (注)  
 ※ 文字等の大きさは縦横2.0mm以上で、P点間は太さ0.3mmの黒線とする。  
 ※ 辺長は原則として民地側に記載し、P点間距離は少数点以下3位切捨てとし、「〇〇m〇〇」と記載する。  
 ※ 境界点や引照点を図面上で分かりづらい場合、詳細図を記載する。  
 ※ 多角点(機械点)は3点以上記載のこと。  
 ※ 適宜、周辺の状況が分かるように付近の地形、構造物等を記載する。



凡 例	○ Pn	境界点
	実形または○Sn	引照点
	○ Tn	多角点
	〇〇m〇〇	境界辺長

作成者	清瀬市中里五丁目842番地	職印 または 印
	資格名 登録第〇〇〇〇号	
測量年月日	令和 年 月 日	